

人材育成制度、eラーニング化

日本物流開発 2月から本格スタート

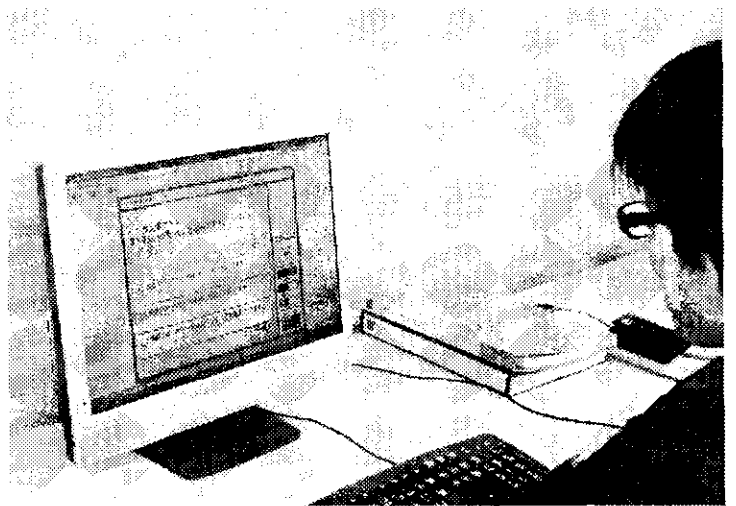
【東京】梱包・発送業務委託や通信販売商品のフ
 のアウトソーシング(業務)ルファイルメントサービスを

手掛ける日本物流開発(JLD、川底孝一郎社長、東京都板橋区)は、人材育成制度のeラーニング化を進めている。現在はトライアルを実施しており、2月をメドに本格的にeラーニング化をスタートする予定だ。

eラーニングはIT(情報技術)を利用して教育・研修を行うもので、利用者は都合のいい時間や場所での教育を受けることができる。一方、管理者は利用状況がリアルタイムに把握できるため学習の進捗管理などに役立つ。

JLDの育成マニュアルは社内業務を4ランクに分割した段階ごとの指導書が

パソコンでいつでも教育が受けられる



た。これにより、各営業所の従業員が一堂に集まることなくパソコンでいつでも教育が受けられる上、新人のパート、アルバイトへの業務説明などにも応用でき、効率化につながる。

ら成る。従業員は自分が所属するカテゴリーの学習を進め、テストに合格するとランクに応じた業務許可が下りるシステムが確立されている。

川底社長は「能率的な梱包作業を教える場合などは動画があると伝わりやすい。また、新たな改善項目を簡単に加えることもできるので、マニュアルの更新もスムーズに進む。品質向上のため、全従業員のレベル底上げにつなげていきたい」と語っている。

(佐藤 学)